

平成19年11月3日

平成19年度（第13回）剣道功労賞受賞者

丸 田 彬 之 （ ま る た よ し ゆ き ） （佐賀県出身）

（丸田雄生）（京都府 大正12年9月5日生 84歳） 剣道範士九段

元京都府剣道連盟副会長 元全剣連 審議員

大日本武徳会武道専門学校卒業後、京都府警察に奉職し、剣道指導室主任師範となる。剣道一筋の人生で各種大会で活躍し、指導者として多くの優秀な剣士を育てた。京都府剣道連盟では、副理事長・審議員・副会長・相談役に就き、永年に亘り剣道の普及・発展に貢献した。

橋 本 明 雄 （ は し も と あ き お ） （群馬県出身）

（東京都 大正14年8月31日生 82歳） 剣道範士八段

元全日本学生剣道連盟 会長代行 元全剣連 常任理事 審議員

東京高等師範学校体育科卒業後、学校教諭を経て、昭和46年から東海大学教授として剣道指導を通じ多くの優秀な剣士を育てた。また、関東学生剣道盟会長に就任するほか全日本学生剣道連盟副会長・会長代行を務めた。

全剣連において、試合・審判委員長を務める他、事業委員、国際競技力向上委員にも就任され、永年に亘り剣道の普及・発展に貢献した。

原 田 源 次 （ は ら だ げ ん じ ） （岩手県出身）

（岩手県 大正14年2月8日生 82歳） 剣道範士八段

岩手県剣道連盟 会長 元全剣連 常任理事 審議員

昭和22年東京体育専門学校卒業後、高等学校の教諭・教頭を歴任した。

また、岩手県剣道連盟の理事長を経て、平成13年からは会長を務めるなど、永年に亘り剣道の普及・発展に大きく貢献した。

木 山 正 規 （ き や ま ま さ の り ） （兵庫県出身）

（兵庫県 大正14年10月9日生 81歳） 剣道教士七段

兵庫県剣道連盟 会長

旧兵庫師範学校（現神戸大学）卒業後、教職に就き、昭和51年から中学校校長、その後、赤穂市教育長12年、赤穂市文化会館館長・赤穂市文化振興財団理事長を務めた。

兵庫県剣道連盟常任理事・副会長を歴任し平成8年以降、会長を務め、永年に亘り剣道の普及・発展に大きく貢献した。

吉 本 實 （ よしもと みのる ）

（東京都出身）

（東京都 大正12年8月5日生 84歳）剣道教士七段
元全剣連 監事 審議員

昭和25年東京大学卒業。労働省へ入省し要職を歴任され、昭和57年
労働事務次官となり、その後、労災年金福祉協会会長等の公職を務めた。

平成11年5月より、官公庁剣道連盟会長に就任、その発展に尽力され
ている。

全剣連の役員としては監事・審議員・顧問、本年度より綱紀委員長に就任。
自ら剣道に励むほか、永年に亘り剣道の普及・発展に大きく貢献した。

風 見 敏 （ かざみ びん ）

（茨城県出身）

（東京都 明治45年7月6日生 95歳）剣道範士七段
東京都高齢剣友会 会長 剣道有功賞受賞（平成14年）

昭和16年中央大学卒業。終戦後、教職に就き高校・中学校に昭和
64年まで勤務された。

北区剣道連盟創立に尽力し、役員を歴任された。

現在もなお、現役で稽古に励むなど、永年に亘り剣道の普及・発展
に大きく貢献されている。

永 江 純 孝 （ ながえ すみたか ）

（兵庫県出身）

（オーストラリア 大正10年4月20日生 86歳）剣道教士七段
全豪剣道連盟 名誉総裁

北海道帝国大学卒業後、雪印乳業に入社。昭和63年よりビクトリア州立
ディーキン大学非常勤講師として、オーストラリアに渡り要職を経て、ビクト
リア豪日協会副会長となる。その傍らコブラム剣道クラブ設立・国家コーチ・
デレクターとなり、オーストラリアで剣道の普及・発展に努め、大きく貢献さ
れた。